

# 第1回教育委員会（定）

開会日時 令和8年 1月 7日（水） 午前 10時00分  
閉会日時 午前 10時44分  
開会場所 教育支援センター

## 出席者

教 育 長	長 沼 豊
委 員	小 林 美 香
委 員	野 田 義 博
委 員	善 本 久 子
委 員	山 口 謠 司

## 出席事務局職員

事務局次長	林 栄 喜	地域教育力担当部長	金 子 和 也
教育総務課長	久保田 智恵子	多様な学び推進担当課長	濱 野 有 樹
学務課長	小 林 晴 臣	指導室長	富 田 和 己
新しい学校づくり課長	柏 田 真	学校配置調整担当課長	野 崎 友 輔
施設整備担当副参事	彼 島 勲	生涯学習課長	池 田 雄 史
史跡公園担当課長	品 田 真 希	地域教育力推進課長	高 木 翔 平
教育支援センター所長	石 野 良 恵		

## 署名委員

教育長

委員

午前 10時 00分 開会

教 育 長

皆さん、おはようございます。

本日は4名の委員の出席を得ましたので、委員会は成立しております。

それでは、ただいまから令和8年第1回の教育委員会を開会いたします。

本日の委員会は、傍聴の方はいらっしゃいません。

本日の会議に出席する職員は、林次長、金子地域教育力担当部長、久保田教育総務課長、濱野多様な学び推進担当課長、小林学務課長、富田指導室長、柏田新しい学校づくり課長、野崎学校配置調整担当課長、彼島施設整備担当副参事、池田生涯学習課長、品田史跡公園担当課長、高木地域教育力推進課長、石野教育支援センター所長、以上、13名でございます。

本日の議事録署名委員は、会議規則第29条により、小林委員にお願いします。

次に、非公開による審議とする案件の確認をいたします。報告2「いたばし魅力ある学校づくりプランの進捗状況について」と、報告3「板橋区立教育科学館の施設再整備及び指定管理者選定の方向性について」は、2月の文教児童委員会で審議を予定している案件のため、また、報告4「板橋区史跡公園（仮称）整備の進捗について」は、2月の特別委員会で審議を予定している案件のため、本日の教育委員会において、公開で審議を行うことにより、具体的かつ自由な討議、審議ができないおそれがありますので、一時非公開による審議とし、議事進行の都合上、委員会の最後に処理することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教 育 長

それでは、そのように処理します。

#### ○報告事項

##### 1. 令和8年度学校用務業務の新規民間委託校選定報告

(学-1・学務課)

教 育 長

それでは、報告事項を聴取します。報告1「令和8年度学校用務業務の新規民間委託校選定報告」について、学務課長から報告願います。

学 務 課 長

よろしくお願いたします。

「学-1」をご覧ください。

令和8年度学校用務業務の新規民間委託校選定報告でございます。

学校用務の方が、今年度いっぱい4名、再任用の更新限度などによりまして、お辞めになる予定でございます。

それに伴いまして、来年度から、用務業務の一部でございます定期清掃業務におきまして、業務委託をさせていただくような形となりました。

学校につきましては、以下の3校、舟渡小学校、蓮根第二小学校、加賀小学校の3校でございます。

それに伴いまして、2番、令和8年度の業務委託校の内訳のとおりとなります。

ちなみに申し上げますと、定期清掃につきましては、正規の職員が1名おりまして、その他に委託の方をさせていただいている学校でございます。

用務業務につきましては、正規職員はゼロで、全面的に業務委託をさせていただいている学校でございます。

最後の直営校につきましては、正規職員を2名配属させていただいている学校でございます。

簡単ですが、以上でございます。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。  
よろしいですか。

(なし)

教 育 長 それでは、本件は以上といたします。  
それでは、ここからは一時非公開の案件に入っております。

#### ○報告事項

#### 2. いたばし魅力ある学校づくりプランの進捗状況について

(配－1 学校配置調整担当課)

教 育 長 報告2「いたばし魅力ある学校づくりプランの進捗状況について」、学校配置調整担当課長から報告願います。

学校配置調整担当課長 「配－1」、いたばし魅力ある学校づくりプランの進捗状況につきまして、令和7年8月以降の進捗内容を報告させていただきます。

初めに、1でございます。

こちらは、第2期、第3期の対象となる学校を掲載してございまして、具体的な進捗は2以降に記載してございます。

次に、2でございますが、こちらは第2期の学校整備、工事のフェーズに入っております学校として、上板橋第一中学校の改築、上板橋第三中学校の維持改修の進捗を、志村小学校・志村第四中学校につきましては、小中一貫型学校としての改築工事などの進捗を記載してございます。

2/2ページへお進みください。

3でございますが、こちらは令和5年12月に現地改築という対応方針を公表しました、第3期の向原小学校、板橋第一中学校、板橋第五中学校についての進捗でございます。

いずれの学校につきましても、周辺施設などとの一体的な検討・調整を進めているところでございます。

こちらの3段落目をご覧ください。

向原小学校につきましては、小竹向原駅周辺のまちづくりと一体的に進めることとし、令和8年度からの方針策定・基本構想・基本計画の着手に向け進めてま

います。

次に、4段落目をご覧ください。

板橋第五中学校につきましては、史跡公園の近隣にあるという立地を生かした学校づくりを進めることとし、令和8年度の基本構想・基本計画の策定に向け進めてまいります。

5段落目、板橋第一中学校につきましては、文化会館などの周辺施設の動向を踏まえまして、課題の検討・調整を進めているところでございます。

最後、4でございます。こちらは板橋第六小学校の進捗を記載してございます。

令和9年度からの改築工事の着手に向けまして、現在、改築検討会を進めているところでございます。

説明は以上となります。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

2ページ目の真ん中のGグループの板橋第五中学校は史跡公園のすぐ隣ということで、まちづくりの魅力化ということとも関連するということですが、もう少し詳しく聞かせていただけますか。

学校配置調整担当課長 ご質問、ありがとうございます。

今ご指摘がありましたように、板橋第五中学校は、道路を挟んではおりますが、史跡公園の向かい側にあるというところでございますので、ハード面、エリアとしての史跡公園との一体的な整備もそうですが、ソフト面、例えば授業でございましたり、クラブ活動でしたり、そのような子どもたちを交えたソフト面のところも連携を含めて、今、検討を進めているところでございます。

教 育 長 ありがとうございます。

関連しますので、史跡公園担当課長からも、一言、どのように捉えているか、聞かせてください。

史跡公園担当課長 後ほど、また史跡公園の整備の進捗の中でもお話をさせていただきたいと思いますが、やはり加賀地域のまちづくりの中で、史跡公園と板橋第五中学校というのは非常に中心的な公共施設になるところから、地域の住民の方も交えて、あそこにどのような機能を置いていくかとか、どのような使い勝手がいいかといったところを含めて、現在、地域の住民の方も交えながらヒアリングを行いつつ、史跡公園、それから板橋第五中学校の検討を進めているところでございます。

板橋第五中学校は、来年度から基本構想、基本計画というところ、史跡公園につきましては設計に入ってくるというところで、歩調を合わせて、足並みをそろえながら、教育委員会、土木、産業、経済部と連携しながら整備の方を進めていきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

教 育 長      ありがとうございました。

ここは歴史的にも価値のあるところですし、旧理化学研究所があった場所でもありますので、例えば理科や社会科の歴史の授業に力を入れていくなど、ハード面もさることながら、先ほど野崎課長からお話がありましたが、教育の中身について、特色のある学校づくりをしていただければと思います。

他にはよろしいですか。

(なし)

○報告事項

3. 板橋区立教育科学館の施設再整備及び指定管理者選定の方向性について

(生－1・生涯学習課)

教 育 長      では、報告3「板橋区立教育科学館の施設再整備及び指定管理者選定の方向性について」、生涯学習課長から報告願います。

生涯学習課長      生涯学習課長でございます。

板橋区立教育科学館の施設の再整備及び指定管理者選定の方向性についてというところでご報告させていただきます。

まず、1でございますが、こちらは資産の現況でございますので、こちらは既にご承知のことと思っておりますので、割愛させていただきます。

次、2、現況・課題になります。

まず、(1)のハード面でございます。開館から37年経過しておりますので、老朽化に対応する必要があるというところ。

2番目に、プラネタリウムなどの更新が必要な状況でございますが、施設のあり方が定まっていないため、更新対応に至っていないというところでございます。

また、3でございます。そのため、施設のあり方を含めた検討の必要がございますというところでございます。

次に、(2)ソフト面でございます。

①でございますが、平成19年度より指定管理者制度を導入しているところでございます。

②に、STEAM教育に取り組んできましたが、創造的活動などをさらに充実させる必要がございます。

③です。令和8年度末に指定管理者の更新時期を迎えるため、次の公募に向けた方針の整理が必要というところでございます。

次に、(3)外部環境への対応でございます。

①に、次期いたばしNo.1実現プランの戦略的取組の1つでございます、クリエイティブ戦略を踏まえた魅力創造を図っていく必要があるというところがございます。

②、周辺施設の公共空間の充実と併せ、再開発などとの連携によりまして、相乗効果の創出が必要というところがございます。

3に移ります。方向性（案）でございます。

まず、（１）基本的な考え方でございます。

①、老朽化対応ではなくて、「未来の学びと創造を支える拠点」の形成を目指してまいりますというところです。

②、人を中心に据えた場づくりをさらに発展してまいりますというところでございます。

③、再整備を見据えた指定管理者の選定を行いまして、ハードとソフトを一体的に捉え、最適化を図ってまいりますというところでございます。

次に、（２）施設再整備でございます。

①、次期No. 1 実現プランにおいて、科学館再整備が新規事業として位置づけられまして、来年度から整備方針に着手いたしますというところでございます。

②、隣接します児童遊園も含め、整備方針を検討いたしまして、あり方について整理し、機能連携などについて検討してまいりますというところでございます。

次に、（３）指定管理者選定についてでございます。

①、新たな指定管理者については、令和８年の第四回定例会の議決を目途に、設置を進めてまいりますというところでございます。

②、選定に当たっては、創造的拠点形成を見据えた新たな事業提案を求めまして、その成果を再整備検討に反映させてまいりますというところでございます。

４でございますが、スケジュール（案）でございます。

こちらは、今まで申し上げました事項をスケジュールに落とし込んで、今年度の分から令和１１年度ぐらいまでを落とし込んでいるというところでございますので、ご確認をいただければと思います。

また、下の※のところでございますが、こちらは、今年度末までの予定を参考までに明記させていただいているところでございます。

説明については以上になります。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

小 林 委 員 ご説明、ありがとうございます。

地域センターというのが施設内にありまして、地域の人にとっては、会議の場であったり、選挙の投票所になっていますが、地域センターはそのままということでもよろしいでしょうか。教えていただけたらと思います。

生涯学習課長 地域センターについては、その施設については、今、ご存じのとおり、一緒の施設になっているのですが、そこについては、このまま一緒にいいのかどうかというところも含めて、あり方で整理をさせていただければというふうに思っております。

教 育 長 他にいかがでしょうか。

野田委員      ご説明、ありがとうございます。

今後の整備についてご検討を進めていかれるとのことですが、教育科学館は、これまで未就学児から中学生、さらには高齢の方まで、幅広い世代に利用されてきた、生涯学習の場として非常に貴重な板橋区の施設であると認識しております。図書館とともに、長年にわたり多くの区民に親しまれてきた施設だと思っております。

また、学校の課外活動においても重要なテーマとして扱われてきており、科学館のあり方や今後の方向性について、子どもたち自身が考え、話し合う機会もこれまでにあったのではないかと思います。

今後、さまざまな検討を進めていくにあたっては、多くの方々の意見を取り入れていただいている点を評価しておりますし、現在、指定管理者として関わっていただいている事業者の方々も、板橋区内外で豊富な実績と経験をお持ちであり、多くのノウハウを蓄積されていると伺っております。

そうした知見も生かしながら、ここで示されている今後のあり方や新たな考え方を取り入れていくことは、大変意義のあることだと思います。一方で、これまでの教育科学館に親しみを持って利用されてきた方々の思いも大切にしていく必要があると感じています。

既存の良さを尊重しつつ、新しい形の教育科学館をどのように創り上げていくのか、その両立を図るためにも、できるだけ多くの方々の声を丁寧に取り入れながら、検討を進めていただければと思います。

生涯学習課長      ありがとうございます。

今回、あり方を色々と進めるに当たっては、一応、現在は事業委託という形で考えておまして、その中では、そのような近隣の方のご意見とか、今までのご利用者の方とか、そのようなところも調査をしながら、そのようなご意見も踏まえて、あり方についてはまとめてまいろうと思っております。

ありがとうございます。そのように進めさせてもらってまいりますので、よろしく願いいたします。

教 育 長      他にいかがでしょうか。

善本委員      ご説明いただき、ありがとうございます。

方向性についても大変共感できるものだと思います。特にSTEAM教育やクリエイター、区民などを中心に据えた場づくりをさらに発展させると書いていただいて、STEAM教育の重要性を言うときに、私がとても意識しているのは、特に日本の理数教育は、このSTEAMの頭のSと後ろのMしかないと言われてる。

理科と数学しかなくて、それが現実の社会とか、生活をつないでいない。そこで、大学に行ったところでアンマッチが起きるということが問題だということがよく言われていて、その間をつなぐのがSTEAMだと、理科とか数学が、どの

ように現実の社会とか、自分の人生とかとつながっていくのかということを感じることができるということはすごく大事だということだと思うので、そういう意味での学校教育とのつながりというのもすごく図っていただけるとありがたいというふうに、学校の方にもそういう考え方でSTEAM教育が広がっていくということが大切ではないかなというふうに思いますので、ぜひそういう方向性を発信していただきながら、学校教育ともつながっていただけると、とてもありがたいし、素晴らしい方向性だなと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

生涯学習課長 生涯学習課長です。ありがとうございます。

今回、幾つかあり方を整理する中で、善本委員もおっしゃっていただいたとおり、そのようなSTEAM教育というか、1つの区のような総合的な拠点の1つとして教育科学館が機能するように、そのような方向性も踏まえながら、あり方についてまとめてまいりたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

教 育 長 他にいかがでしょうか。

山 口 委 員 よろしくお願ひいたします。ご報告ありがとうございます。

今年はユネスコ創造都市ネットワークへの加盟をめざすというようなことでございますし、絵本を中心にしたということを区長もお話ししていらっしゃいましたので、すぐ近くのところに中央図書館がありますので、善本委員がおっしゃったような、全てのSTEAMですね、テクノロジーとアートと数学、技術、そういうようなものが融合して、ユネスコ創造都市の1つになるような計画をしていただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

生涯学習課長 ありがとうございます。

まさに板橋が目指すこととなりますユネスコ創造都市ということも含めて、そのような、先ほども少し申し上げましたとおり、1つの拠点となるような形であり方としてまとめて、この施設ができるようにまとめてまいりたいというふうに思っております。ありがとうございます。

山 口 委 員 よろしくお願ひいたします。

教 育 長 ありがとうございます。

1番の地図でお分りのとおり、近くに中央図書館もありますし、小学校、中学校もあります。上板橋駅周辺のまちづくりを含めて、魅力的な施設にすることで、区長部局と教育委員会事務局が連携・協働しながら、皆さんのために、魅力的なまちをつくる、言わば拠点としての教育科学館になるのではないかと期待があります。

それにどのように応えていくのかということが大事かと思ひます。

また、野田委員からの話とも関連しますが、子どもたちの意見を聞くということのも大事です。生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長 ありがとうございます。

まさに近隣には中央図書館もございますし、区のそのような施設、また、再開発などもございますので、1つの本当に総合的な拠点として、この地域全体が発展するということではございますので、そのようなところに貢献できるように進めてまいりたいと思っておりますし、そのような近隣の方も含めた、ご利用の方とか、お子さんで、そのような生徒・児童の方から、ご意見なんかも色々と相談しながら、1つの方向性としては今後進めてまいりたいと思っております。ありがとうございます。

教 育 長 ぜひよろしく願いいたします。  
こちらは以上になります。

○報告事項

4. 板橋区史跡公園（仮称）整備の進捗について

（史－1・史跡公園担当課）

教 育 長 では、続いて、報告4「板橋区史跡公園（仮称）整備の進捗について」、史跡公園担当課長から報告願います。

史跡公園担当課長 よろしく願いいたします。

「史－1」をご覧いただければと思います。

板橋区史跡公園（仮称）整備の進捗についてということでございますが、本件につきましては、2月24日の文化芸術・多文化共生推進調査特別委員会でご報告をすることと、それから、先ほどご報告がありました、いたばし魅力ある学校づくりプランの板橋第五中学校に関するご報告が先ほどあったと思いますが、これに関しまして、このタイミングで史跡公園の整備の現在につきまして、資料についてご報告をさせていただくものになります。

それでは、資料に参ります。

整備事業、実際の整備の事業と、あと、公開事業に分けて資料の方は作成させていただいておるところでございます。

まず、1、史跡公園開園に向けた各種整備の経緯ということになります。

この表にあるとおり、令和7年まで、各種調査、各種計画の策定等々を進めているところでございますが、量がありますので、ピックアップしてご説明させていただきたいと思っております。

もともと史跡公園のスタートというのが、平成27年から28年にかけて、庁内で、野口研究所、今の旧野口研究所、旧理化学研究所、加賀公園部分をトータルで史跡公園にするというのを庁内の整備委員会で決定し、当時はまだ史跡ではなかったのですが、史跡指定に向けた調査を開始したのが平成27年から28年

です。

平成29年度に公園の基本構想を策定し、その後、この年の10月に「陸軍板橋火薬製造所跡」として国の史跡に指定されたものでございます。

その後、令和元年、令和2年と、史跡に関する保存活用計画、それから整備基本計画を策定し、その後、コロナの関係があって計画が少しローリングした部分があったのですが、その間でも、各種、色々な調査を行ったというところでございます。

令和6年度に、こちらの史跡の中にある遺構であるとか建造物がかなり劣化している部分がありましたので、ここを緊急で補修工事を行いました。

今年度につきましては、遺構建造物の整備基本設計ということで、耐震の設計を現在行っているというところと、あと、一番下になりますが、史跡公園のデジタルミュージアム、また後ほどご説明させていただきますが、これを、今のところ予定ですが、開館する予定になっているというところになります。

続きまして、次のページに行きまして、2ページ目でございます。

2、これは活用の方の状況についてご説明をさせていただきたいと思っております。

(1)で、展示事業。

史跡公園の整備に向けて、令和3年度から展示事業を、展覧会シリーズを開催しているところでございます。

表の方でいきますと、1番、2番、3番、これが「シリーズ工都」展、板橋はもともと工都と呼ばれていたところでございます。その工都をアピールするための展示会を3年間にわたって行ったところでございます。

令和3年度は光学産業、令和5年度が印刷産業、それから、3ページ目に行きまして、令和6年度が理化学研究所を中心とした科学研究、これらの展示会を行わせていただいたところでございます。

4番目としまして、調査の中でアメリカの公文書館の調査を行いました。その際に、戦後すぐぐらいの写真がかなり出てまいりましたので、これの速報展ということで、展示会を令和6年12月に行ったというところでございます。

引き続き、5番目以降でございます。令和6年度から、今度は新しいシリーズものとして、「シリーズ点と点と展」というところで、史跡にまつわる色々な角度からの展示を行っているところでございます。

令和6年度は、「かかわりなずむ津々浦々と」、史跡と全国、それから世界がどういうふうにつながっているのかの展示会。

それから、今年度、令和7年12月から行っていますが、もともと宇宙船の研究をしていた場所でもありますので、宇宙船を歴史的な観点、それから、物理学の観点と、両面から見るという展示会を、現在、行っているところでございます。

続きまして、4ページ目になります。

(2)で、一般公開事業ということになります。

昨年度、令和6年度から、「近代化遺産の全国一斉公開」に合わせまして、史跡公園の予定地も一般公開を行っております。

令和6年、令和7年と2年やっておりまして、昨年度は700人だったところ、

今年度は1, 300人と、ほぼ倍増ぐらいの人数が来ておまして、ある一定の興味はあるのかなというところは把握したところでございます。

続きまして、4ページ目の3になります。

デジタル技術を用いた整備ということで、史跡に関しては、もともとはデジタル技術を使って整備をしていくようにという方針が1つあったところでございますので、(1) (2)ということで、デジタルを使った整備を書かせていただいております。

まず(1)の方が、日本大学生産工学部の中澤研究室、中澤教授と共に史跡公園を用いた共同研究を行っております。

日本で初めて史跡指定地全域の3Dモデル化を令和元年度に行ったところでございますが、この実測データを用いて、日大の中澤先生のところと共同研究を行っているところでございます。

(2)は、先ほどお話ししましたが、史跡公園デジタルミュージアムというところ、これの開館を目指して構築を進めているところでございます。

これにつきましては、史跡の価値や魅力を発信するためのプラットフォームとして、リアルな空間ではなくてインターネット上の仮想空間にデジタルミュージアムを開館するものでございます。

今年度につきましては、史跡公園もまだ開園前で、一部閉鎖して管理をしているところがございますので、史跡指定地の内部をインターネット上で自由にウオークスルーで見られるようなコンテンツを、現在、構築しております。

予定ですと、2月の下旬から3月の中旬にかけて、恐らくオープンできるのではないかなというような見込みが現状で立っております。

次年度以降につきましては、こちらに関わる歴史資料、学芸員が色々な資料を調査して収集しているところがありますので、これをインターネット上で見られるような歴史資料のアーカイブ化、それから、板橋区の産業遺産というのが結構色々なところにありますので、このようなところも一緒に閲覧できるようなアーカイブシステムの構築を令和8年、令和9年で進めていく予定になっております。

それから、4番目で、(仮称)産業ミュージアム整備との関係についてというところで、産業ミュージアムというものを、現在、産業経済部の基本構想、基本計画の策定を進めているところでございます。

産業ビジョンにつきましては、史跡指定地内に旧理化学研究所というものがございまして、こちらの歴史的建造物の一部をリノベーションして整備を行っているところでございます。

これにつきましては、当時の文化財的な価値であるとか、歴史的ストーリーを基に、区の産業のブランドの向上であるとか、次世代の産業を担う理系人材の育成の拠点としての性格を持つような整備を進めているところでございます。

こちらにつきましては、産業経済部の方が主管でやっておるところでございますが、当然、文化財という観点もありますし、あと、公園の一部ということもありますので、産業経済部、土木部との連携で整備を進めている、検討を進めているところでございます。

続きまして、5ページ目に参りまして、5で、史跡公園周辺地域整備との関係ということで、先ほどもお話を若干させていただきましたが、当時、加賀のまちづくりの拠点であるという認識を我々の方の事務局の方も持っておりまして、これにつきましては、点としての公園整備ではなく、周辺地域を面として、この地域への波及効果を視野に入れながら整備事業を行っているところであります。

具体的には、4点の検討を行っているところでございます。

まず1つ目が、史跡指定地外に残る史跡関連遺構・建造物の回遊性の検討ということであります。

例えば東京家政大学の中であるとか、そのようなところにもまだ史跡の関連遺構がございますので、これをどのような形で回遊していくのかというプランの検討を行っております。

それから、2つ目、旧中山道、王子新道など、周辺を回遊する観光ルートの検討ということで、史跡を訪れる道すがらで、旧中山道の部分、これも文化財が残っていたり、あと、商店街があったりとかしておりますので、回遊する観光ルートをどうやって設定すればいいのかという検討を行っています。

それから、3つ目として、先ほどもお話がありました、史跡としての特色を生かした学習機会の提供に向けた、板橋第五中学校と連携した整備内容の検討ということで、これにつきましては、学校の先生方にヒアリングを行ったり、あとは地域にお住まいの方にヒアリングを行ったり、学校と史跡公園をどのように連携して整備をしていったらいいのかというところの検討を、既に今年度から行っております。

来年度、板橋第五中学校の基本構想、基本計画の際にも、併せて連携して検討の方を進めていく予定になっております。

最後、石神井川沿いの快適な回遊を可能とする動線の検討ということで、石神井川沿いの緑道につきましては、史跡の指定地ではないのですが、不可分一体のものとして、例えば桜であるとかというのはかなり有名なところ、板橋十景にも入るような有名なところがございますので、併せて、快適に回遊できるような、そのような動線の検討を今進めているというところになります。

6番目、今後の整備スケジュールでございます。

令和8年度から基本的な設計が進んでいくということと、あと土木部になりますが、公園用地都市計画決定であるとか、公園用地の買い戻しであるとか、このようなところが始まるような形になっております。

最終的には、令和11年度中に史跡公園のグランドオープンを目指して、今後整備、設計、工事を進めていく予定になっております。

最後に、6ページにイメージパースを載せさせていただいております。

おおむねこのような形になるのではないかと想定で、イメージパースを載せさせていただいているところでございます。

長くなりましたが、説明の方は以上でございます。

教 育 長 意見等がございましたら、ご発言ください。

小林委員      ご説明、ありがとうございました。  
お話の中で、歴史的建造物の一部リノベーションというお話がありました。  
北区にある史跡は図書館になっていると思うのですが、理化学研究所の整備につきまして、具体的なお話が聞けたらと思います。よろしくお願ひします。

史跡公園担当課長      北区については、たしか文化財指定登録をされていない箇所になりまして、ある程度、リノベーションというのが可能な部分になります。  
こちらの史跡公園の中にある旧理化学研究所の建物につきましては、史跡の構成要素の一部になっておりまして、文化財的価値がかなりあるということで、基本的には保存をしつつ活用していきなさいというようなことを文化庁の方から指示されているところです。  
ただ、産業ミュージアムとして活用する分については、例えば外観は残しつつ、中は一定リノベーションして、大事なところは残しつつ、将来的に使えるところはきちんと整備をして使っていく、このようなプランを今検討しているところですが、これは何分、文化庁との協議のところが必要のところになっていきますので、我々がやりたいことというのは、きちんと文化庁の方には伝えつつ、どこまで整備できるかというのはこれからの検討になるかなと考えております。  
以上でございます。

小林委員      地域でも大変話題になっており、非常に楽しみにしております。  
まちづくり、産業、歴史と複合的な要素をもつ施設になってきますけれども期待感があります。  
史跡公園の整備構想委員会の議事録を読むと、日本が戦争をしたということを伝える施設にしてほしいというような意見が出ていました。子どもたちの平和教育にぜひ役立てていただけたらと思っております。  
よろしくお願ひいたします。

史跡公園担当課長      ありがとうございます。  
平和教育につきましては、やはりこの場所が軍事施設だったというところはどうしても避けられないというか、表現は必ずしないといけないということと、板橋区は平和都市宣言もしているということもありますので、そのようなところをきちんと理解できるような展示というのは検討していかなければならないと思っております。  
現在、学術の専門の方も交えながら、その点につきましても検討を進めているところがございますので、また改めて、そのような展示の方針が出ましたら、この場をお借りしましてご報告させていただきます。  
以上になります。

教 育 長      他にいかがでしょうか。

山口委員 お願いいたします。報告、ありがとうございます。

今、小林先生がおっしゃったのと生涯学習課長がおっしゃったように、平和と産業というようなところで非常に重要なところだと思うのです。

今回、点と点と展というようなことをシリーズでなさるということですが、理化学研究所は、ご存じのように、もともと、高峰譲吉という、金沢出身の人が渋沢栄一にこういうものを造ったらどうですかというようなことを言って始まったものということになっておりますし、それから、野口研究所も、金沢ですね。金沢というところは姉妹都市に板橋区はなっておりますが、ボローニャとの関係、姉妹都市というところでは同じようなものになっているだろうと思います。

それから、長崎というところから言いますと、高島平というところは、高島秋帆が初めて砲弾を撃ったところでして、ここもやっぱり長崎の砲術があって初めて、金沢で作られた爆薬、そういうものが、白川郷とか、そういうところで作られているのですよね。

そういうものがやってきて、金沢、加賀下屋敷で保存されていたものが使ったりされておりますこと。

それから、長崎という点で言うと、もう1人、平和の祈りという彫刻を作られた北村西望という方が、もともと北区にアトリエがあって、吉祥寺に移っていらっしゃいますけども、長崎の関係が非常に大きかったというようなことで、平和と産業というものが、やっぱりあそこの加賀の地で色々な歴史を重ねて作られてきたんだということがもっと分かるような展示とか、そういうことを、姉妹都市の関係も含めてですが、立体的に、もっと恒常的に見えるような、有機的にあそこが守られてきたんだ、発展してきたんだというようなことをプレゼンできるような施設にしていいただければなと思います。

以上です。

史跡公園担当課長 昨年も、先ほど少し展示のお話をさせていただいたのですが、令和6年度に「かわりなずむ津々浦々と」という展示会を行った際に、史跡公園と全国各地のどのようなところがどう連携してるのかという展示を行わせていただいたところでございます。

その中には、当然、金沢というところも出てまいりました。その他に、北海道であるとか、全国津々浦々で史跡の部分と関連するところがかなり多くあります。

国内だけではなくて、海外、例えばデンマークのコペンハーゲンであるとか、そのようなところもかなり関連があるというのが分かりましたので、このようなところは、きちんと平和と産業といった面からも、きちんとプレゼンできるような展示を、これはぜひやっていきたいと思っておりますので、また報告もさせていただきたいと思っております。どうもありがとうございます。

山口委員 どうもありがとうございます。

教 育 長 他にありますか。

善 本 委 員 ご説明いただき、ありがとうございます。

私の方から、1つ、ぜひ期待したいなと思っているのは、デジタル技術を用いた整備ということも挙げていただけていますが、この史跡公園というものを使うに当たっても、単なる技術としての現在だけでなく、やっぱり史跡公園がこれからできることの意味というのは、過去と現在と未来をつなぐということだと思ひまして、今新しい技術としてデジタルがあるというだけではなく、本当に過去と現在と未来をつないで、希望が持てるような、そういう存在になっていただきたいなというふうに思っていますので、そういう意味で、そこに先ほども申し上げたような、アートであったりとか、何かその流れが繋がっていくようなものが、非常に抽象的な言い方で恐縮なのですが、できてくれたら、とてもうれしいなという希望を持っていますので、少しそういう視点も入れていただければありがたいかなというふうに思います。よろしくをお願いします。

史跡公園担当課長 デジタルミュージアムは、委員がおっしゃられたとおり、単なる手段ではなくて、それを使って今後どのようなものを創造していくのかという1つのツールであると考えております。

その中で、やっぱりデジタルミュージアムと、先ほどお話をさせていただいたのですが、あれについては、分かったことを展示するだけではなくて、そのプラットフォームを使って、要は双方向的なやり方を、受け取るもの、こちらも受け取り、こちらも発信する、そのやり取りを日常的にやることによって何かを生み出していくとか、あと、産業ミュージアムのお話もさせていただいたのですが、そちらでは、やはりクリエイティブなところ、先ほど教育科学館の中でSTEAMのお話がありましたが、やっぱりこちらの産業ビジョンのSTEAMという観点は非常に重要な観点だと思っておりますので、そのようなもの、単なる歴史の展示というものを超えた、色々な創造的な、創造できるような場所として整備することを今検討しているところでございますので、また改めてご指導の方をいただければと思っておりますので、よろしくをお願いします。

善 本 委 員 ありがとうございます。

教 育 長 この場所が歴史と文化と平和の事業といった様々な分野の拠点になるということで、大変期待も大きいという話も聞いております。

その分、やりがいのあるプロジェクトになっているかと思っていて、さらに言うと、創造都市としての板橋の魅力、あるいは我々教育委員会としては、「MIRAI SCHOOL いたばし」の板橋全体が学びのキャンパスだという考え方も合致しますので、区民の皆さんや、区民以外の皆さんもここに集っていただいて、楽しみつつ学んでいただく場としての機能も重要になってくると思うのです。

その点はいかがでしょう。

史跡公園担当課長 今、教育長がおっしゃられたとおり、「MIRAI SCHOOL いたばし」、要は様々な学びを提供する場所として非常に重要な場所だと考えております。

これにつきましては、歴史の部分、それから科学の部分、ものづくりの部分といった様々な視点から、角度から、教育、学びの提供ということが出来る場所だと考えております。

これにつきましては、板橋第五中学校との連携もあると思いますので、学校教育、それから、生涯学習、社会教育も含めて、様々な学びを提供するような場所にしていきたいと考えております。今後とも調査させていただきます。よろしくお願いいたします。

教 育 長 よろしくお願いたします。

先ほどの教育科学館のこともそうですが、教育委員会事務局だけではなくて、区長部局とも連携する、あるいは、各事業体の皆さんとも連携しながら進めていくということがこれから恐らく増えてきます。

このことに限らず、我々教育委員会事務局が進めることが、色々な部局との連携をしていくということが恐らく増えるだろうと思いますので、その点を意識しながら、「MIRAI SCHOOL いたばし」を進めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

よろしいでしょうか。

(なし)

教 育 長 それでは、次に、教育委員会にはありませんが、追加報告事項はありますか。よろしいですか。

(なし)

教 育 長 よろしければ、以上をもちまして本日の教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

午前 10時 44分 閉会